

2023 年度  
九州教区  
組教化事業メニュー  
リスト

九州教区教化委員会  
組教化推進部門

## 「九州教区 組教化事業メニューリスト」について

「九州教区 組教化事業メニューリスト」（以下「本書」と表記。）は、九州教区教化委員会の各種会議、各組代表者に出席いただいた組教化代表者協議会（組間連絡会）及び、各組教化委員会から提出された教化事業計画書・報告書を基に、組教化推進部門において作成しました。

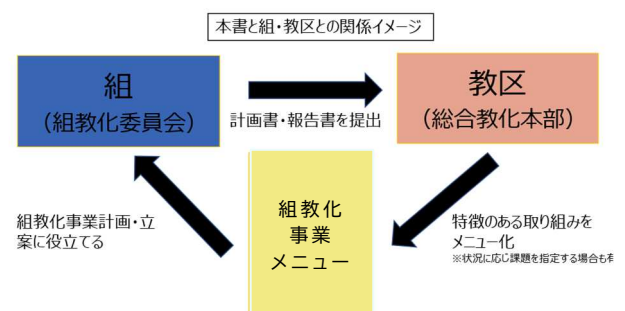
九州教区は教区改編と同時に組の改編を行ったことから、「組を基軸とした教化」を推進していく方針が出されました。実際に2020年7月より、九州教区並びに新組が実動する中で、組の教化事業を企画・立案するにあたり、「他組でどのような教化活動が行われているか知りたい」というご意見を多くいただきました。本書は、各組の教化委員会において、教化事業を企画・立案していく際の一助となること、また組教化事業創出の過程で、複数組で取り組む事業への道筋にも寄与することを願いとしています。（※各組からの教化事業報告は九州教区HPに掲載しています。）

## 本書の位置づけ

前述のとおり、本書は各組教化事業計画書・報告書等を基に作成しておりますので、各組の事業計画立案の際に、参考資料としてお使いいただきたいと考えております。

なお、本書はあくまでも参考資料であるため、記載のメニューを一部改良して実施することや、本書に記載のない事業を実施することも可能です。

2023年度より、新たな助成対象事業として「課題別研修助成」（上限3事業）を設けました。このことにより、各組において特色のある事業にも助成がなされるようになりましたので、各組の特色ある事業を是非とも教区にご報告いただきたいと思います。ご報告いただいた内容は、以下に示すように、本書における新たなメニューとして各組へ紹介し、九州教区全体の各組教化事業の充実を図ってまいりたいと考えております。



## 教化事業メニューのカテゴリーについて

「何を行えばよいかわからない」、「具体例が欲しい」という意見を想定し、組教化推進部門において、各組の教化事業を収集・分析する過程で、以下の3つに分類する作業を行いました。

そのため、本書は便宜上、この分類で作成しています。

- ①【基礎・座学～真宗の学び～】
- ②【表現・伝達～教えの伝え方～】
- ③【協働・発信～社会との接点～】

なお、以下のメニューは、今年度より設定する「課題別研修助成」（上限3事業）についての参考例であり、この分類のとおり事業を指定するものではありません。

それぞれの組の外部環境や強み・弱みを見きわめ、事業を選び取っていただきたいと思います。

## 【基礎・座学 ～真宗の学び～】

事業名	安居		
対象	寺族、門徒	会場	別院、教務支所
課題・特色 留意点	<p>テーマ「立教開宗に学ぶ『教行信証』後序をとおして」 組内全寺院対象で、日程は2泊3日。 実行委員会を組織し、企画から終了後のまとめ（録音など）まで行う。</p>		

事業名	真宗公開講座		
対象	門徒、一般	会場	公共施設会議室
課題・特色 留意点	<p>一般の方が参加しやすいよう、公共の施設を使用。 チラシ・ポスターを作成し、各寺の法要や掲示板を活用。 希望者には直接案内を送付。</p>		

事業名	女性研修会		
対象	門徒、一般	会場	寺院
課題・特色 留意点	<p>社会福祉（高齢者福祉）の立場から真宗の教えについて考える。</p>		

事業名	若手坊守研修		
対象	若手坊守（50歳以下）	会場	別院
課題・特色 留意点	<p>法話、声明作法、座談会を行う。法要出仕の習礼をし、別院の定例法要へ実際に出仕をする。 子どもを連れて参加できる環境を整えることが必要。</p>		

事業名	真宗入門講座		
対象	門徒	会場	組内寺院を巡回
課題・特色 留意点	<p>年6回の門徒向けの入門講座、若手の法話研鑽も兼ねている。 内容は「真宗の基礎」「お内仏の荘厳」「クイズ形式の座学」など。</p>		

事業名	真宗入門クイズ		
対象	女性門徒の会	会場	別院など教化拠点
課題・特色 留意点	法話の前に予めクイズシート（10問程度）に各自で答えを書いてもらい、その上でクイズに則った法話をする。 一度自分で考えていることなので、お話に入りやすくなる。		

事業名	報恩講の願いに学ぶ		
対象	坊守	会場	寺院
課題・特色 留意点	東本願寺（真宗本廟）報恩講のパンフレットをテキストに、京都の本山で厳修される報恩講の願いと儀式の流れについて学ぶ。		

事業名	報恩講習礼		
対象	寺族	会場	別院
課題・特色 留意点	別院・会館報恩講出仕に向け、教区内准堂衆より装束、声明、出退作法などを学ぶ。		

事業名	葬儀・中陰儀式		
対象	寺族	会場	寺院
課題・特色 留意点	寺院における葬儀・中陰の流れや荘厳について確認と学習の場をもつ。		

事業名	教区教化テーマの願いに学ぶ		
対象	寺族	会場	寺院
課題・特色 留意点	九州教区教化テーマ「生活を聞法の場に—真宗門徒として—」を基に、講義をいただき、参加者同士で語り合いの場をもつ。		

事業名	若手僧侶学習会		
対象	若手僧侶	会場	寺院
課題・特色 留意点	若手僧侶の研鑽を目的に学習会を行う。共通テキストを用いた輪読・発題など、参加者同士が活発に発言できる雰囲気づくりを大切にする。		

事業名	葬儀中陰勤行集に基づく声明作法		
対象	僧侶	会場	寺院
課題・特色 留意点	教区准堂衆会より講師を派遣いただき、葬儀式の作法について学ぶ。（鑿の打ち方、七條袈裟の取り扱い、出退作法等）		

事業名	声明講習会		
対象	僧侶	会場	別院・組内寺院
課題・特色 留意点	組内での勤行の統一性と、一人ひとりの向上を目指し、報恩講勤行の研鑽を定期的（2・3ヵ月に1回）に行う。		

事業名	リレー法話会		
対象	門徒	会場	寺院
課題・特色 留意点	組内育成員を講師に「真宗門徒の生活」をテーマとし、「育成員（お寺の方たち）のリレー法話」を実施。新組合併に伴い、育成員・組門徒会の交流を目的とし、僧俗ともに連携しながら、聞法の場を増やしていく。		

## 【表現・伝達 ～教への伝え方～】

事業名	正信偈学習会		
対象	僧侶	会場	組内寺院を巡回
課題・特色 留意点	組内僧侶を中心とした学習会。若手僧侶を中心に発題や解説を行い、出された疑問などは「正信偈講座」につなげる。学習の成果は門徒向けの「正信偈に学ぶ」にてわかりやすいお話として表現していく。		

事業名	正信偈講座		
対象	僧侶	会場	寺院
課題・特色 留意点	僧侶を対象に座学を行う。僧侶の発題を中心とする「正信偈学習会」で出された疑問等を、講師に伝えてもらう。本講座の参加者が「正信偈に学ぶ」の講師になることで、3つの事業が連携して学びの場になっていく。		

事業名	正信偈に学ぶ		
対象	門徒	会場	組内寺院を巡回
課題・特色 留意点	普段お勤めしている「正信偈」について、なるべく専門用語を使わずに門徒にお話するように努める。「正信偈講座」と「正信偈学習会」と連携して実施している。		

事業名	定例聞法会		
対象	組門徒会員	会場	組内寺院を巡回
課題・特色 留意点	若手僧侶の法話研鑽の場、合併した組の交流も兼ねている。 年3回実施、1回につき3名（各々30分）で年間9名が講師を務める。		

事業名	帰敬式実践講座		
対象	住職、僧侶	会場	別院 or 寺院
課題・特色 留意点	一般寺院における帰敬式執行について、事務手続きを始め、具体的な執行の手順、及び作法について学ぶ		

事業名	青年僧侶研修会		
対象	若手僧侶	会場	寺院
課題・特色 留意点	大学で教鞭を執っている方に、実際に学生へ向けた講義の内容を話していただき、僧侶が若年層への法話を行うときの一助とする。		

事業名	仏事について		
対象	僧侶	会場	寺院
課題・特色 留意点	今仏事場で何が求められているのか、法務の現場で大切にすべき内容について学ぶ。本来の寺院の役割として、対話・遺族ケアの場として仏事を考えていく。		

## 【協働・発信 ～社会との接点～】

事業名	YouTube チャンネル開設		
対象	門徒、一般	会場	WEB
課題・特色 留意点	Youtube での動画配信の企画、撮影、編集。 内容「初心者への正信偈・御文」「お焼香の作法とマナー」「はなまつりに行こう」等。		

事業名	部落差別問題研修		
対象	寺族、門徒	会場	組内寺院
課題・特色 留意点	被差別部落の歴史を学び、現代の差別問題との関わりを考える。		

事業名	寺院葬研修会		
対象	寺族	会場	別院 or 寺院
課題・特色 留意点	一般寺院での葬儀式執行に取り組んでいる講師から、寺院葬における注意点や葬儀社などの外部事業者との関係性構築について学ぶ。 意見交換の時間を設け、これからの葬儀のあり方について語り合う。		

事業名	非核非戦（定例）法要		
対象	僧侶、門徒	会場	真宗大谷派長崎教会
課題・特色 留意点	8月9日に非核非戦法要、毎月9日には定例法要を勤修。 Youtube によるライブ配信も行う。		

事業名	こども報恩講		
対象	幼児、小学生	会場	別院
課題・特色 留意点	遊びをとおしてお寺に親しみをもってもらう。 毎年、日を固定（日曜日）して実施。 組内全寺院への呼びかける。		



事業名	こども報恩講・縁日		
対象	寺院子ども会会員	会場	別院 or 寺院
課題・特色 留意点	報恩講期間後に、縁日を開催。門徒持ち寄りでお菓子のつかみ取り、射的、バザー、マルシェ、坊主 bar、パン作り、牛乳パックをつかった御華束づくりなどを行う。併せて犬猫の譲渡会も開催。		

事業名	別院報恩講参拝の奨励と補助		
対象	門徒	会場	別院
課題・特色 留意点	移動手段のない方、高齢の方などが教区内別院報恩講へ参拝できるよう、団体参拝の企画や、バスの手配などの業務を行う。		

事業名	組同朋大会		
対象	寺族、門徒	会場	ホテル（大規模会場）
課題・特色 留意点	有縁の方すべてを対象に、交流会を目的として開催。 各種団体の名簿を一本化して、直接郵送にて案内し出欠をとる。 午後からお勤め、法話ののちは同場所にて温泉入浴と宴会、希望者は宿泊も。		

事業名	グリーンケア講座		
対象	坊守	会場	教務支所などの教化拠点
課題・特色 留意点	坊守として遺族と触れあう機会が多い中、どのように接してよいか迷っている方へ。学びをとおして、門徒とのコミュニケーションに変化がうまれる。 テキスト『大切な人をなくしたあなたへ』（リヴオン書籍）		

事業名	寺報作成講習		
対象	寺族、門徒	会場	ネット環境が整った場所
課題・特色 留意点	寺院活性化支援員より、寺報や広報の必要性を学び、実際に作成してみるところまで行う。 寺族だけでなく門徒と一緒にすることも良い。		

事業名	「おてらおやつクラブ」をとおして貧困問題を考える		
対象	坊守、寺族	会場	教務支所、別院、公共施設
課題・特色 留意点	全国的に広がる貧困問題の実情を知る。 坊守一人からでも始められる「おてらおやつクラブ」について学ぶ。 坊守と地域の方とのつながりの一助にも。		

事業名	はなまつり子ども会		
対象	子ども、門徒	会場	別院などの教化拠点
課題・特色 留意点	供灯供華、勤行、おはなし、白象パレード、レクリエーションなど。		

事業名	真宗大谷派僧侶による差別発言事件から学ぶ		
対象	組内僧侶・坊守	会場	組内寺院
課題・特色 留意点	2017年4月25日大分市内（旧日豊教区）で惹起した真宗大谷派僧侶による部落差別発言事件について、九州教区解放運動推進協議会作成のテキスト『あなたへ～安穩なる世をめざして～』を活用し、部落差別の現実に関心し学ぶ。発題は部落差別問題部会委員。※連続した学習会とする。		

事業名	ハンセン病問題に学ぶ		
対象	一般	会場	寺院、公共施設など
課題・特色 留意点	社会の誤った認識により、長い間偏見や差別に苦しんでいる。我々がその苦しみに加担してきた歴史がある。被害者・加害者が共に解放されていく道を見出し、その歩みを続けていくことを願いとし開催。		

事業名	組子ども会		
対象	組内寺院	会場	組内寺院
課題・特色 留意点	子ども会を行いたいが、参加して下さる子どもやスタッフがいない寺院もある中、組内で協力し会処持ち回りで開催。 教区教化委員会青少幼年部門に協力いただき実施。		

事業名	諸団体立ち上げ支援		
対象	寺院	会場	寺院
課題・特色 留意点	一カ寺の活性化を願いとし、寺院における団体（例、女性門徒の会）の立ち上げを組としてサポートしていく。組内若手僧侶をスタッフとし、スタッフ育成も兼ねている。		

事業名	カルト問題の現状と課題		
対象	組内寺院	会場	組内寺院
課題・特色 留意点	脱会支援に携わる講師より、自身の入信から脱会までの体験をもとに、カルト問題について考える。		

事業名	坊主バー		
対象	青壮年層	会場	飲食店
課題・特色 留意点	組内若手有志で企画・実施。僧侶が人と接する時に持つべき姿勢、聞き方などを事前に研修し、飲食店を貸り開催する。		

事業名	子ども奉仕団		
対象	子ども・育成員	会場	真宗本廟
課題・特色 留意点	真宗本廟にて寝食を共にし、子どもたちと「生きる」というテーマで共に考える。		

事業名	寺族子弟の集い in 京都		
対象	京都在中の組内寺院子弟	会場	しんらん交流館
課題・特色 留意点	在京子弟を対象に、自坊へ帰った際に安心して繋がっていけるよう願い開催。自己紹介の後、教区や組、組内寺院の紹介など、各取り組みを紹介し、懇親を深める。		